

「湯灌の儀」



「湯灌の儀」をとり行う意味は2つあります。

人は生まれたとき、その方が生まれたところの水源から得た水によって「産湯」がなされますが、これは出産儀礼として広く一般的な慣習といえます。

同様に「湯灌」は、この世からあの世へ旅立つ際、その同じ水源から得た水によってなされるということにより、あの世への新たな出生、「またこの世へ帰ってきてください」という、再生や生まれ変わりの願いを込めて行われる葬送儀礼です。

また、湯灌には、生きていた時にまとった悩みや苦しみを洗い流すという宗教的な意味も込められています。

“茨木市立斎場での家族葬は”



想いをかたちに…

株式会社ハナブ商店

大阪府茨木市寺田町 10-26 TEL:072-622-2222



次に湯灌の意味としては、故人のお体を綺麗にさせていただくことにより、一生の仕事を終えた最後の癒しとして入浴させてあげるという思いやりの儀式です。

また、死後の体からは体液や血が流れだすこともありますので、これらをきれいに流し、衛生的に保つという意味も込められており、ご遺族の方々が最後まで故人に寄り添い、たくさん触れていただけますように、という祈りが込められています。

湯灌は、唐の時代に仏典の訳を行っていた義浄(ぎじょう)という僧侶が、「仏説無常経」を訳した中に記されていたのがはじまりとされています。

ハナブ商店では湯灌の儀を行っております。どうぞお気軽にご質問・ご相談ください。

“茨木市立斎場での家族葬は”



想いをかたちに…

株式会社ハナブ商店

大阪府茨木市寺田町 10-26 TEL:072-622-2222



ハナブ商店
掲載者:大坪